

2026 年度
奨学生入試（造形学部）
実技試験「鉛筆デッサン」（100 点 90 分）

実技課題 想定デッサン（鉛筆デッサン）

＜想定課題文＞

あなたの目の前に違う素材でできた立方体が2つあります。それら立方体は、1つは地面に接地し、1つは空中に浮いています。その様子を自由に想定して鉛筆デッサンしてください。想定されたモチーフに当たる光の方向は自由ですが、光は柔らかな自然光とし、必要な場合はそれによってできる影も設定してください。

＜条件＞

- ・立方体の大きさは任意とします。
- ・背景や床の設定などの処理は自由です。
- ・紙はB 3 M画用紙で、縦・横位置での使用は自由です。
- ・想定物（モチーフ）の入れ方、構図は自由です。
- ・試験時間は 90 分間で、試験開始と終了は監督者の合図に従ってください。

＜注意＞

- ・下描きが必要な場合は、与えられた用紙を使用してください。
- ・出題の内容に関する質問にはお答えできません。

■試験および試験場での諸注意

- ・机、椅子などは許可なく移動させることはできません。

ただしデッサンを行うにあたり不都合が生じた場合は、速やかに監督者に申し出て、その指示に従ってください。

・座席から離れて自分の作品を見たり、立って確認したりすることは認めません。他の受験生の迷惑にならないよう、確認などは着席のまま行ってください。

・試験時間内の退室は、原則認めません。途中トイレや気分が優れないなど、やむを得ず退出する場合は、その旨を監督者に告げて許可されてから受験票を預けて退出してください。退出後は係員の指示に従ってください。